

激論！ 国保料23.6%引き上げ

※保険料率3年間据え置きとの説明を前提に議論しました

●**反対**・・・小池 博之
一定の条件で賛成したが、委員会では否決の結論を重く受け止める。国保会計の健全化・公平性を考慮しても、23・6%の上げ幅はあまりに大きく加入者の理解を得られない。

○**賛成**・・・五味 平一
医療制度改正、医療費の伸び、医療技術の高度化など、医療環境の変化に対応し、国保会計の健全化を図るために改正案に賛成。医療費抑制と上げ幅を少なくする努力は必要。

●**反対**・・・佐久 祐司
保険料引き上げの必要性は理解できるが、上げ幅2割は大きすぎる。国保は国民皆保険のセイフティネットであり、加入者は低所得者が多いことから、段階的な引き上げにするべき。

○**賛成**・・・小池 勇
国民健康保険は相互扶助の制度、受益者が応分の負担をすべき。一般会計からの繰り入れは反対。上げ幅は大きい。分析・シミュレーションが正確。保険料率3年間据え置きは、痛みに慣れる時間と考える。

再提案（11・5%引き上げ）で可決！
6月定例会で原案（国民健康保険料一人平均23・6%引き上げ、保険料率3年間据え置き）が否決されたことにより、6月24日の臨時議会で、保険料一人平均11・5%引き上げ、料率は毎年見直すこととした修正案が提出され、賛成多数で可決しました。
低所得者への措置として、応益割のみが軽減の対象となっており、今後保健予防対策を更に強化していく。また、行政・国保運営協議会・議会がそれぞれの立場で厳しく対応していくことを確認しました。

●**反対**・・・加々見保樹
あまりに大きな上げ幅は住民の理解を得られない。国保財政の状況から引き上げはやむを得ないが、医療費の伸びを大きく見過ぎている。無駄な医療費を抑える電子カルテの導入や町民に理解を求める努力が必要。

●**反対**・・・小林 市子
医療費の伸びに反し、所得は減っている。国保加入者は所得の少ない人が多い。20%を超す引き上げと料率3年間据え置きは納得できない。料率は毎年実績で見直すべき。予防、早期治療等医療費抑制に力を入れることも行政の責任。

●**反対**・・・宮下 伸悟
国保会計の健全化に一刻も早く道筋をつけることに異論はない。上げ幅が大きいのので、保険料率3年間据え置きをやめ、実績をもつて毎年見直すべき。厳しい国保財政の状況や繰り入れの是非、基金の健全化を考えれば苦渋の選択。

●**反対**・・・名取 武一
国保は社会保障制度で、公的扶助による経済的補償である。加入者は低所得者が多い。23・6%は見かけの数字で、多くの人がもつと大幅な引き上げになる。議員は町民の声の代弁者、町民が納得できる変更案を待つことが議会の責任。

〈主な議案の採決結果〉

○賛成 ●反対

議 会	議 案	三井 新成	小池 勇	五味 平一	小林 市子	平出 隼仁	宮下 伸悟	小池 博之	佐久 祐司	加々見保樹	名取 武一
5月臨時会	平成22年度富士見町一般会計補正予算(第7号)の専決処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度富士見町観光施設貸付事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月定例会	国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●
	平成23年度富士見町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月臨時会	国民健康保険条例の一部を改正する条例(再提案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

― 請願・陳情 審査結果 ―
*「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情 (全員一致採択)